

理由や事例をとらえる

つかえる国語 四年

ーまい目 きそ

言葉のきまりをたしかめる

1 2 3 4

めやす10分

名前

1 次のア～ウのうち、書いた人の「考え」を表している文を一つえらびましょう。

ア 学校の池にはコイがいます。

イ 図書室の本は金曜日に返します。

ウ 池の生き物をもっとふやすとよいと思います。

答え

2 ア・①に合うつながぎ言葉を「たとえば・なぜなら・このように」からえらんで書きましょう。

わたしは犬が好きです。 ⑦、いつもしっぱをふってくれるからです。

この公園には遊具があります。 ①、すべり台やブランコです。

⑦

①

3 理由を表す文の終わり方を、ア～エから二つえらびましょう。

ア ～からです。

イ ～と思います。

ウ ～そうです。

エ ～ためです。

答え

答え

4 考えと合っている理由を、ア～ウから一つえらびましょう。

朝読書が続けたいです。なぜなら、（ ）

ア 本を読むと、言葉をたくさん覚えられるからです。

イ ぼくはサッカーがとくいだからです。

ウ あしたは雨がふりそうだからです。

答え

理由や事例をとらえる

つかえる国語 四年

ーまい目 きそ

言葉のきまりをたしかめる

1 2 3 4

めやす10分

答え

名前

1 次のア～ウのうち、書いた人の「考え」を表している文の一つえらびましょう。

ア 学校の池にはコイがいます。

イ 図書室の本は金曜日に返します。

ウ 池の生き物をもっとふやすとよいと思います。

答え

ウ

2 ア・①に合うつなぎ言葉を「たとえば・なぜなら・このように」からえらんで書きましょう。

わたしは犬が好きです。 ⑦、いつもしつぱをふってくれるからです。

この公園には遊具があります。 ①、すべり台やブランコです。

ア

なぜなら

①

たとえば

3 理由を表す文の終わり方を、ア～エから二つえらびましょう。

ア からです。

イ ーと思います。

ウ ーそうです。

エ ーためです。

答え

ア

答え

エ

4 考えと合っている理由を、ア～ウから一つえらびましょう。

朝読書が続けたいです。なぜなら、（ ）

ア 本を読むと、言葉をたくさん覚えられるからです。

イ ぼくはサッカーがとくいだからです。

ウ あしたは雨がふりそうだからです。

答え

ア

中心の語や文を見つけて要約する

つかえる国語 四年

ーまい目 きそ

言葉のきまりをたしかめる

1 2 3 4

めやす10分

名前

1 次のア～ウの文の中で、とんぼについての中心となる文（一番大事なことを言っている文）はどれですか。

ア とんぼは、水べの近くを飛び回ることが多いです。

イ とんぼは、大きな目でえものを見つけて食べる虫です。

ウ とんぼの目は、小さな目が集まってできています。

答え

2 ア・①に合う、文章をまとめるときに使う言葉を「つまり・たとえば・ところで」からえらんで書きましょう。

花だんの花は、水をやりすぎるとくさってしまします。 ア、水のやりすぎには気をつけましょう。

生き物係の仕事には色々な種類があります。 ①、水そうのそうじです。

ア

①

3 次の文の中で、中心となる言葉（なくすと文の意味が大きく変わってしまう言葉）はどれですか。

校庭のすみに立つ一本の大きないちようの木が、今年もきれいに葉を黄色くそめました。

ア いちようの木

イ 校庭のすみ

ウ 一本

答え

4 次の文章を正しく要約した文はどれですか。

図書委員会いんは、来週、読書週間の取り組みをします。

取り組みの中心は、えらんだ本のポスターを図書室前いんにはることです。

多くの人に、本を手にとってもらうことがねらいです。

ア 図書委員会いんは、読書週間に、本のポスターをはり、多くの人に手に取ってもらおうとしています。

イ 図書室前いんには、色々な本のポスターがはってあります。

答え

中心の語や文を見つけて要約する

つかえる国語 四年

ーまい目 きそ

言葉のきまりをたしかめる

1 2 3 4

めやす10分

答え

名前

1 次のア～ウの文の中で、とんぼについての中心となる文（一番大事なことを言っている文）はどれですか。
ア とんぼは、水べの近くを飛び回ることが多いです。

イ とんぼは、大きな目でえものを見つけて食べて食べる虫です。

ウ とんぼの目は、小さな目が集まってできています。

答え

イ

2 ⑦・①に合う、文章をまとめるときに使う言葉を「つまり・たとえば・ところで」からえらんで書きましょう。

花だんの花は、水をやりすぎるとくさってしまします。

⑦、水のやりすぎには気をつけましょう。

生き物係の仕事には色々な種類があります。

①、水そうのそうじです。

⑦

つまり

①

たとえば

3 次の文の中で、中心となる言葉（なくすと文の意味が大きく変わってしまう言葉）はどれですか。

校庭のすみに立つ一本の大きないちようの木が、今年もきれいに葉を黄色くそめました。

ア いちようの木

イ 校庭のすみ

ウ 一本

答え

ア

4 次の文章を正しく要約した文はどれですか。

図書委員会いんは、来週、読書週間の取り組みをします。

取り組みの中心は、えらんだ本のポスターを図書室前いんにはることです。

多くの人に、本を手にとってもらうことがねらいです。

ア 図書委員会いんは、読書週間に、本のポスターをはり、多くの人に手に取ってもらおうとしています。

イ 図書室前いんには、色々な本のポスターがはってあります。

答え

ア

だんらくのつながりをとらえる

つかえる国語 四年

ーまい目 きそ

言葉のきまりをたしかめる

1 2 3 4

めやす10分

名前

1 「問い」の文を、ア～エから一つえらびましょう。

ア ツバメは、春に日本にやって来ます。

イ ツバメのひなは、口を大きく開けてえさを待ちます。

ウ ツバメは、なぜ家ののき下に巢を作るのでしょうか。

エ このように、ツバメは人のそばでくらししています。

答え

2 ア・①に合う言葉を「問い・まとめ・例」からえらんで書きましょう。

説明する文章の「はじめ」には ㊦ を書き、「おわり」には ㊧ を書くことが多い。

㊦

㊧

3 「おわり」のだんらくの始まりに使う言葉を、ア～エから二つえらびましょう。

ア このように

イ たとえは

ウ つまり

エ なぜなら

答え

答え

4 だんらくを変えるとき書き方として正しいものを、一つえらびましょう。

ア 行を変えず、一ますあけて続ける。

イ 行を変えて、はじめの一字を下げて書く。

ウ 行を変えて、一番上から書く。

答え

だんらくのつながりをとらえる

つかえる国語 四年

ーまい目 きそ

言葉のきまりをたしかめる

1 2 3 4

めやす10分

答え

名前

1 「問い」の文を、ア～エから一つえらびましょう。

ア ツバメは、春に日本にやって来ます。

イ ツバメのひなは、口を大きく開けてえさを待ちます。

ウ ツバメは、なぜ家ののき下に巣^すを作るのでしょうか。

エ このように、ツバメは人のそばでくらししています。

答え
ウ

2 ア・①に合う言葉を「問い・まとめ・例」からえらんで書きましょう。

説明する文章の「はじめ」には ㊦ を書き、「おわり」には ㊧ を書くことが多い。

㊦
問い

㊧
まとめ

3 「おわり」のだんらくの始まりに使う言葉を、ア～エから二つえらびましょう。

㊦
ア このように

イ たとえば

㊦
ウ つまり

エ なぜなら

答え
ア

答え
ウ

4 だんらくを変えるとき書き方として正しいものを、一つえらびましょう。

ア 行を変えず、一ますあけて続ける。

㊦
イ 行を変えて、はじめの一字を下げて書く。

ウ 行を変えて、一番上から書く。

答え
イ

行動や様子から気持ちを読む

つかえる国語 四年

1 まい目 きそ

言葉のきまりをたしかめる

1 2 3 4

めやす10分

名前

1 「はずかしい」気持ちを表している様子の文を、ア～エから一つえらびましょう。

ア ほおが赤くなり、下を向いた。

イ 口をとがらせて、そつばを向いた。

ウ 目を大きく開けて、息をのんだ。

エ むねをはって、前を見た。

答え

2 ㊦・㊧に合う言葉を「うれしい・くやしい・不安な」からえらんで書きましょう。

ボールが取れなくて、㊦ 気持ちでくちびるをかんだ。

かけっこで一番になり、㊧ 気持ちで手をふった。

㊦

㊧

3 人物の性格を表す言葉を、ア～エから二つえらびましょう。

ア さびしい

イ やさしい

ウ ねむい

エ がんこな

答え

答え

4 次の文の弟の気持ちに近いものを、一つえらびましょう。

弟は、もらったおもちゃをだきしめて、はなさなかった。

ア おもちゃが重くて、こまっている。

イ おもちゃがうれしくて、大事にしたい。

ウ おもちゃが気に入らず、返したい。

答え

行動や様子から気持ちを読む

つかえる国語 四年

ーまい目 きそ

言葉のきまりをたしかめる

名前

1 2 3 4

めやす10分

答え

1 「はずかしい」気持ちを表している様子の文を、ア～エから一つえらびましょう。

ア ほおが赤くなり、下を向いた。

イ 口をとがらせて、そっぽを向いた。

ウ 目を大きく開けて、息をのんだ。

エ おねをはって、前を見た。

答え

ア

2 ア・イに合う言葉を「うれしい・くやしい・不安な」からえらんで書きましょう。

ボールが取れなくて、

かけっこで一番になり、

ア

くやしい

イ

うれしい

3 人物の性格を表す言葉を、ア～エから二つえらびましょう。

ア さびしい

イ やさしい

ウ ねむい

エ がんこな

答え

イ

答え

エ

4 次の文の弟の気持ちに近いものを、一つえらびましょう。

弟は、もらったおもちゃをだきしめて、はなさなかった。

ア おもちゃが重くて、こまっている。

イ おもちゃがうれしくて、大事にしたい。

ウ おもちゃが気に入らず、返したい。

答え

イ

相手や目的に合わせて手紙を書く

つかえる国語 四年

ーまい目 きそ

言葉のきまりをたしかめる

名前

1 2 3 4

めやす10分

1 お礼の手紙の組み立てとして、正しい順にならんでいるものを一つえらびましょう。

ア 本文↓拝啓↓名前↓日づけ

イ 拝啓↓あいさつ↓本文↓敬具↓日づけ↓名前

ウ 拝啓↓本文↓あいさつ↓日づけ↓敬具

エ あいさつ↓拝啓↓本文↓敬具↓名前

答え

2 次の文を、手紙にふさわしいでない言い方に直します。ア・イに入る言葉を書きましょう。

わたしたちは工場を見た。 ↓ わたしたちは工場を

また教えてほしい。 ↓ また教えて

ア

イ

3 工場の見学のお礼の手紙に書くことよいことを、ア～エから二つえらびましょう。

ア 教えてもらって分かったこと

イ 自分の家から工場までの行き方

ウ 見学で心にのこったこと

エ 工場でもらったおかしのねだん

答え

答え

4 あとの文を、前の文にそろえて直します。よいものを一つえらびましょう。

わたしたちは工場を見学しました。 きかいの音が大きかった。

ア きかいの音は、とても大きかった。

イ きかいの音が大きかったです。

ウ きかいの音が大きい。

答え

文の終わりが、二つの文でそろっているかな。

相手や目的に合わせて手紙を書く

つかえる国語 四年

ーまい目 きそ

言葉のきまりをたしかめる

名前

1 2 3 4

めやす10分

答え

1 お礼の手紙の組み立てとして、正しい順にならんでいるものを一つえらびましょう。

ア 本文↓拝啓↓名前↓日づけ

イ 拝啓↓あいさつ↓本文↓敬具↓日づけ↓名前

ウ 拝啓↓本文↓あいさつ↓日づけ↓敬具

エ あいさつ↓拝啓↓本文↓敬具↓名前

答え

イ

2 次の文を、手紙にふさわしい言い方に直します。ア・イに入る言葉を書きましょう。

わたしたちは工場を見た。 ↓ わたしたちは工場を

また教えてほしい。 ↓ また教えて

ア

見ました

イ

ほしいです

3 工場の見学のお礼の手紙に書くといいいことを、ア・エから二つえらびましょう。

ア 教えてもらって分かったこと

イ 自分の家から工場までの行き方

ウ 見学で心にのこったこと

エ 工場でもらったおかしのねだん

答え

ア

答え

ウ

4 あとの文を、前の文にそろえて直します。よいものを一つえらびましょう。

わたしたちは工場を見学しました。きかいの音が大きかった。

ア きかいの音は、とても大きかった。

イ きかいの音が大きかったです。

ウ きかいの音が大きい。

答え

イ

文の終わりが、二つの文でそろっているかな。

理由をたしかめて意見を書く

つかえる国語 四年

1 まい目 きそ

言葉のきまりをたしかめる

1 2 3 4

めやす10分

名前

1 書いた人の「意見」を表している文を、ア～エから一つえらびましょう。

ア 図書室は、月曜日から金曜日まで開いています。

イ 図書室の本は、二週間で返します。

ウ 昼休みも図書室を開けるとよいと思います。

エ 図書室には、本が三千さつあります。

答え

2 ⑦・①に合う言葉を「なぜなら・だから・たとえば」からえらんで書きましょう。

メダカがよいと思います。 ⑦、世話がかんたんだからです。

メダカは世話がかんたんです。 ①、メダカがよいと思います。

⑦

①

3 「朝の会で本のしよいかいをするとき」という意見をささえる理由を、ア～エから二つえらびましょう。

ア 読みたい本が見つかるから。

イ 朝の会は、八時半に始まるから。

ウ みんなの好きな本を知ることができるから。

エ ぼくは、算数がとくいだから。

答え

答え

4 理由を表す文の終わり方を、一つえらびましょう。

ア ～からです。

イ ～と思います。

ウ ～でしょうか。

答え

理由をたしかめて意見を書く

つかえる国語 四年

ーまい目 きそ

言葉のきまりをたしかめる

1 2 3 4

めやす10分

答え

名前

1 書いた人の「意見」を表している文を、ア～エから一つえらびましょう。

ア 図書室は、月曜日から金曜日まで開いています。

イ 図書室の本は、二週間で返します。

ウ 昼休みも図書室を開けるとよいと思います。

エ 図書室には、本が三千さつあります。

答え

ウ

2 ア・イに合う言葉を「なぜなら・だから・たとえば」からえらんで書きましょう。

メダカがよいと思います。

ア、世話がかんたんだからです。

メダカは世話がかんたんです。

イ、メダカがよいと思います。

ア

なぜなら

イ

だから

3 「朝の会で本のしよいかいをするとき」という意見をささえる理由を、ア～エから二つえらびましょう。

ア 読みたい本が見つかるから。

イ 朝の会は、八時半に始まるから。

ウ みんなの好きな本を知ることができるから。

エ ぼくは、算数がとくいだから。

答え

ア

答え

ウ

4 理由を表す文の終わり方を、一つえらびましょう。

ア からです。

イ ーと思います。

ウ ーでしょうか。

答え

ア

話し合って考えをまとめる

つかえる国語 四年

1 まい目 きそ

言葉のきまりをたしかめる

1 2 3 4

めやす10分

名前

1 二人の考えの同じところを見つけて言うときの言い方を、ア～エから一つえらびましょう。

ア では、多数決で決めましょう。

イ その話は、あとにしませんか。

ウ 二人とも、二年生が楽しめることを考えていますね。

エ ぼくは、こちらの方がぜったいによいと思います。

答え

2 ⑦・①に合う言葉を「どちらも・そこで・つまり」からえらんで書きましょう。

二人の考えは、⑦外で体を動かす遊びです。

時間が足りません。①、二つのうち一つに選びましょう。

⑦

①

3 司会の仕事を、ア～エから二つえらびましょう。

ア 自分の考えだけを通す

イ 出た考えを整理する

ウ 反対する人を決める

エ 話し合うことをたしかめる

答え

答え

4 考えが二つに分かれたときの進め方として、よいものをえらびましょう。

ア 出た考えを、同じところとちがうところで整理する

イ 声の大きい人の考えに決める

ウ 早く手を挙げた人の考えに決める

答え

考えを出したあとに、司会がすることを思い出そう。

話し合って考えをまとめる

つかえる国語 四年

ーまい目 きそ

言葉のきまりをたしかめる

名前

1 2 3 4

めやす10分

答え

1 二人の考えの同じところを見つけて言うときの言い方を、ア～エから一つえらびましょう。

ア では、多数決で決めましょう。

イ その話は、あとにしませんか。

ウ 二人とも、二年生が楽しめることを考えていますね。

エ ぼくは、こちらの方がぜったいによいと思います。

答え

ウ

2 ア・イに合う言葉を「どちらも・そこで・つまり」からえらんで書きましょう。

二人の考えは、
② 外で体を動かす遊びです。

時間が足りません。
①、二つのうち一つにしばらくしましょう。

ア

どちらも

①

そこで

3 司会の仕事を、ア～エから二つえらびましょう。

ア 自分の考えだけを通す

イ 出た考えを整理する

ウ 反対する人を決める

エ 話し合うことをたしかめる

答え

イ

答え

エ

4 考えが二つに分かれたときの進め方として、よいものをえらびましょう。

ア 出た考えを、同じところとちがうところで整理する

イ 声の大きい人の考えに決める

ウ 早く手を挙げた人の考えに決める

答え

ア

考えを出したあとに、司会がすることを思い出そう。

資料を見せて報告する

つかえる国語 四年

1 まい目 きそ

言葉のきまりをたしかめる

2 3 4 めやす10分

名前

1 報告の発表のはじめに言うことを、一つえらびましょう。

ア 調べたことのテーマと、調べたわけ

イ 調べて分かったことのまとめ

ウ 発表を聞いた人からのしつ問

答え

2 ア・イに合う言葉を「まず・つぎに・最後に」からえらんで書きましょう。

ア、調べ方を説明します。イ、調べて分かったことを話します。

ア

イ

3 表やグラフを見せながら話すときに気をつけることを、ア～エから二つえらびましょう。

ア 表のどこを見ればよいかを、言葉で伝える。

イ 表の数字は、一つのこらず読み上げる。

ウ 表を見せたあとは、聞く人の方を見て話す。

エ 表は、発表の最後まで見せない。

答え

答え

4 「調べ方」を説明している文を、一つえらびましょう。

ア 校庭には、たくさんの生き物がいます。

イ ダンゴムシは、花だんに一番多くいました。

ウ 校庭を三か所に分けて、一週間、生き物の数を数えました。

エ みなさんも、校庭の生き物をさがしてみてください。

答え

資料を見せて報告する

つかえる国語 四年

ーまい目 きそ

言葉のきまりをたしかめる

1 2 3 4

めやす10分

答え

名前

1 報告の発表のはじめに言うことを、一つえらびましょう。

ア 調べたことのテーマと、調べたわけ

イ 調べて分かったことのまとめ

ウ 発表を聞いた人からのしつ問

答え ア

2 ア・①に合う言葉を「まず・つぎに・最後に」からえらんで書きましょう。

ア、調べ方を説明します。 ①、調べて分かったことを話します。

ア まず

① つぎに

3 表やグラフを見せながら話すときに気をつけることを、ア～エから二つえらびましょう。

ア 表のどこを見ればよいかを、言葉で伝える。

イ 表の数字は、一つのこらず読み上げる。

ウ 表を見せたあとは、聞く人の方を見て話す。

エ 表は、発表の最後まで見せない。

答え ア

答え ウ

4 「調べ方」を説明している文を、一つえらびましょう。

ア 校庭には、たくさんの生き物がいます。

イ ダンゴムシは、花だんに一番多くいました。

ウ 校庭を三か所に分けて、一週間、生き物の数を数えました。

エ みなさんも、校庭の生き物をさがしてみてください。

答え ウ

くらべて分ける

つかえる国語 四年

ーまい目 きそ

言葉のきまりをたしかめる

1 2 3 4

めやす10分

名前

1 次のア・エのうち、二つの公園を「広さ」という同じ見る点でくらべている文を一つえらびましょう。

ア 北公園は駅に近く、南公園は遊具が新しいです。

イ 北公園は人が多く、南公園は広いです。

ウ 北公園は千二百平方メートル、南公園は八百平方メートルです。

エ 北公園にはすべり台があり、南公園はしばふがきれいです。

答え

2 ⑦・①に合う言葉を「どちらも・一方・つまり」からえらんで書きましょう。

北公園と南公園には、⑦ 水道があります。

北公園には日かげが多い。①、南公園には日かげが少ない。

⑦

①

3 次のア・エの本を「調べるために使う本」と「読んで楽しむ本」に分けます。「調べるために使う本」を二つえらびましょう。

ア 詩集

イ 生き物ずかん

ウ ぼうけん物語

エ 国語じてん

答え

答え

4 二つの公園をくらべる表を作ります。見出しの立て方がよいものを一つえらびましょう。

ア 広さ ・ 北公園のよいところ ・ 駅からかかる時間

イ 北公園 ・ 南公園 ・ 広さ

ウ 広さ ・ 遊具の数 ・ 南公園が好きな人

エ 広さ ・ 遊具の数 ・ 駅からかかる時間

答え

二つとも同じことがくらべられる見出しかな。

くらべて分ける

つかえる国語 四年

ーまい目 きそ

言葉のきまりをたしかめる

名前

1 2 3 4

めやす10分

答え

1 次のア～エのうち、二つの公園を「広さ」という同じ見る点でくらべている文を一つえらびましょう。

ア 北公園は駅に近く、南公園は遊具が新しいです。

イ 北公園は人が多く、南公園は広いです。

ウ 北公園は千二百平方メートル、南公園は八百平方メートルです。

エ 北公園にはすべり台があり、南公園はしばふがきれいです。

答え

ウ

2 ア・イに合う言葉を「どちらも・一方・つまり」からえらんで書きましょう。

北公園と南公園には、水道があります。

①、南公園には日かげが少ない。

ア どちらも

① 一方

3 次のア～エの本を「調べるために使う本」と「読んで楽しむ本」に分けます。「調べるために使う本」を

二つえらびましょう。

ア 詩集

イ 生き物ずかん

ウ ぼうけん物語

エ 国語じてん

答え

イ

答え

エ

4 二つの公園をくらべる表を作ります。見出しの立て方がよいものを一つえらびましょう。

ア 広さ ・ 北公園のよいところ ・ 駅からかかる時間

イ 北公園 ・ 南公園 ・ 広さ

ウ 広さ ・ 遊具の数 ・ 南公園が好きな人

エ 広さ ・ 遊具の数 ・ 駅からかかる時間

答え

エ

二つとも同じことがくらべられる見出しかな。

つなぐ言葉と指し示す言葉^{しめ}

つかえる国語 四年

1 まい目 きそ

言葉のきまりをたしかめる

1 2 3 4

めやす10分

名前

1 ⑦・①に合う言葉を「だから・しかし・また」からえらんで書きましょう。

朝から雨がふった。⑦、遠足は中止になった。

早く家を出た。①、電車におくれてしまった。

⑦

①

2 「それ」が指しているものを、ア～エから一つえらびましょう。

校庭に大きなけやきがある。それは、学校ができた年に植えられた木だ。

ア 校庭

イ 学校

ウ 植えた人

エ 大きなけやき

答え

3 前の文と反対のことを続けるときに使う言葉を、ア～エから二つえらびましょう。

ア しかし

イ そして

ウ ところが

エ だから

答え

答え

4 つなぐ言葉の使い方が正しい文を、ア～ウから一つえらびましょう。

ア 朝から雨がふった。だから、校庭は晴れていた。

イ 妹は本を読んだ。そして、感想をノートに書いた。

ウ 兄は走るのが速い。たとえば、足がじょうぶだ。

答え

つなぐ言葉と指し示す言葉^{しめ}

つかえる国語 四年

1 まい目 きそ

言葉のきまりをたしかめる

1 2 3 4

めやす10分

答え

名前

1 ア・①に合う言葉を「だから・しかし・また」からえらんで書きましょう。

朝から雨がふった。ア 遠足は中止になった。

早く家を出た。①、電車におくれてしまった。

ア だから

① しかし

2 「それ」が指しているものを、ア～エから一つえらびましょう。

校庭に大きなけやきがある。それは、学校ができた年に植えられた木だ。

ア 校庭

イ 学校

ウ 植えた人

エ 大きなけやき

答え エ

3 前の文と反対のことを続けるときに使う言葉を、ア～エから二つえらびましょう。

ア しかし

イ そして

ウ ところが

エ だから

答え ア

答え ウ

4 つなぐ言葉の使い方が正しい文を、ア～ウから一つえらびましょう。

ア 朝から雨がふった。だから、校庭は晴れていた。

イ 妹は本を読んだ。そして、感想をノートに書いた。

ウ 兄は走るのが速い。たとえば、足がじょうぶだ。

答え イ